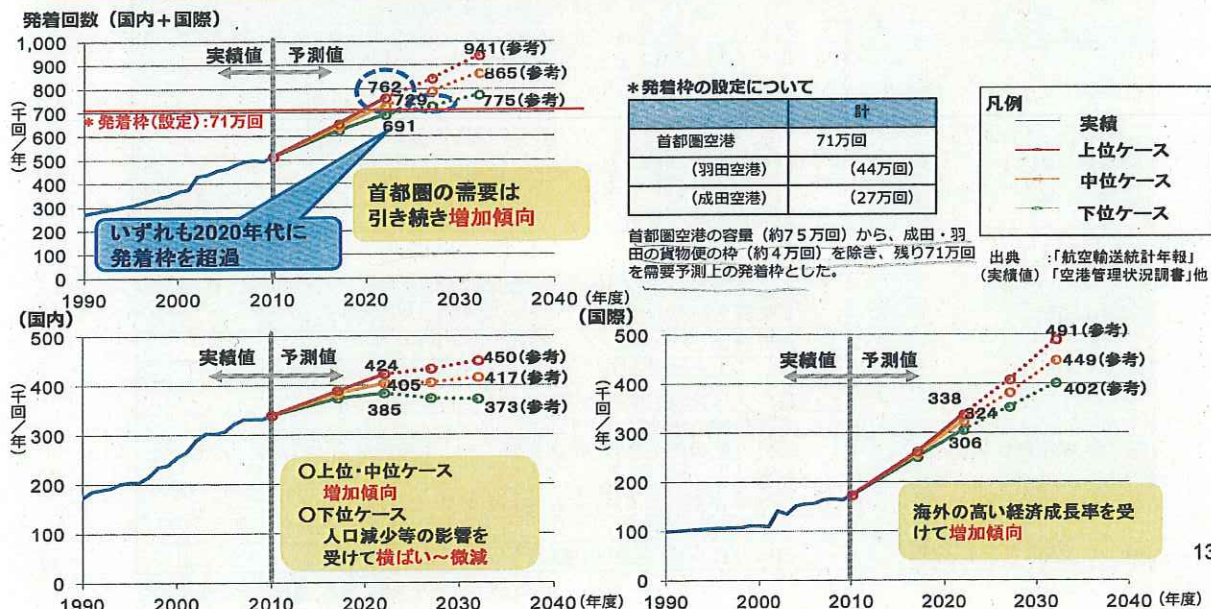


1. 首都圏の航空需要予測(発着回数)

国土交通省

【首都圏空港の航空需要予測(発着回数)】

○ 首都圏空港の発着回数(国内線+国際線)は、上位・中位ケースでは2022年度、下位ケースでは2027年度に発着枠を超過する見込み。



1. 航空需要予測のポイント

国土交通省

【需要予測結果のポイント】

- 過去の実績値をベースに将来の航空需要予測をすると、今後とも、首都圏空港の航空需要全体(国際・国内の合計)は増加傾向。
- 特に、国際線需要は大幅に増加。
(2012~2022年度の10年間で約6~8割増加する見込み)
- 国内線需要は、我が国の経済成長率が低く推移すると仮定した場合は、人口減少等の影響を受けて横ばいから微減となるが、日本再興戦略が目指す経済成長率を前提とした場合は増加傾向となる。
(2012~2022年度の10年間で横ばいから約1割程度増加見込み)
- 概ね2020年代前半には、首都圏空港の航空需要全体は、現在計画中の空港容量(74.7万回)の限界に達する見込み。
- さらなるインバウンド政策の推進やLCCによる新規需要創出によっては、今回の需要予測結果よりさらに需要が上向きになる可能性がある。